

第 96 号
2019 年 (令和元年)
5 月

たけはら

市民と議会

令和の時代が
スタートします!

<http://www.city.takehara.lg.jp/gikai/>

目次	特集	2
	予算特別委員会.....	4
	議案などの概要.....	6
	採決の結果.....	8
	意見書・臨時会.....	10
	一般質問.....	11
	議会のごき.....	13
	所管事務調査.....	15

特集

伝えます 真心こめて



▲竹原市朗読ボランティア「グループしおさい」の皆さん



特集

道法議員 井上議員が聞く

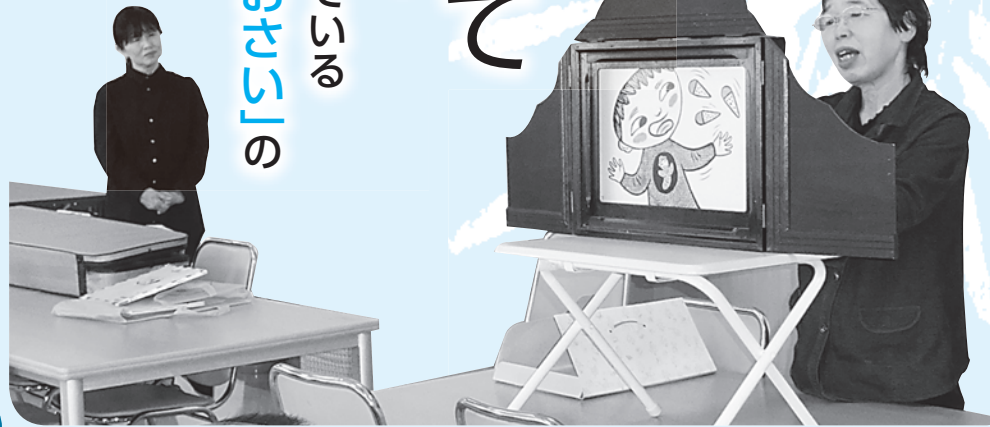
伝えます

真心こめて

議会だよりや広報を録音して、目の不自由な方をサポートしているボランティア「グループしおさい」の皆さんの活動についてインタビューしました。

Q 活動内容について

福原 この会は、図書館の本を目的の不自由な方にも読んでもらう・聴いてもらうという目的で発足して、まずは市の広報からということ、録音したテープを渡すようになったのが始まりです。現在は、3年おきに開催される朗読の養成講座を受講した方がしおさいの会員となって、当番制で録音テープを作成しています。会員同士や利用者さんとも交流を深めながら活動しています。



▲芸南学園での絵本の会のようす

■竹原市朗読ボランティア「グループしおさい」

- 所属…社会福祉協議会 ボランティアグループ連絡協議会
- 歴史…昭和57(1982)年発足
- 会員…30人
- 活動…
 - ・広報、議会だより、天風録、天声人語、PHPの録音
 - ・声の便り(4回/年)
 - ・中国芸南学園での絵本の会(1回/月)
 - ・利用者とサークルの交流会(1回/年)
 - ・県東部朗読ボランティア交流会(1回/3年)
- 研修…定例会(4回/月) その他必要に応じて月に数回

Q

工夫していること・苦勞していることは

川本 当番もちよっと出来ないときは気軽に替わってもらえるし、どこからでも入っていけるような、そんなグループです。

舟本 辞めるのはいつでも辞められる。だから、参加したいときに来ればいいし、できることをすればいい。それがボランティアでしょうからね。

舟本 聞く方に意味が通じるように、難しい用語には意味を添えて録音することもあります。

福原 利用者さんから要望があっても著作権等の問題で録音できないことも多いのが現状です。今作成している内容が、押し付けにならないかなというジレンマはありますね。



会長 福原 典子さん 11期生(シニア)



議会だより録音担当 舟本 眞澄さん 5期生(シニア)



書記・機器担当 川本 壽子さん 13期生(ひよこ)



▲ボランティアルームで打ち合わせ中

▶楽しく食事をしながら利用者さんとの交流会



▲プロのアナウンサーに教えてもらってます

Q 活動の魅力は

川本 利用者さんとの交流会で、「あ、〇〇さんね!」「声の便りでこんなこと話されていたね」と言われたときは、本当によく聞いてくださっているんだと感じました。また、「しおさいの方はよく練習されているから、やっぱり上手なよ」と言ってもらえたことも嬉しかったです。

福原 これは84歳の会員の言葉ですが、「ポランティアは人の為になると思ってたけど、それ以上に自分の為になっています。」とおっしゃっていました。これはどの会員も感じていることだと思いますね。
また昨年、芸南学園さんの50周年記念式典に招かれて、毎月している絵本の会の活動に対して、感謝状をいただきました。これは本当に光栄でした。

Q 議会だより、議会等に望むこと

舟本 議会だよりは以前よりは読みやすくはなったけれど、やっぱり議会用語や横文字は意味が分からない言葉もあるので、注釈があると良いと思います。

福原 他市がやっているような子ども議会をしたり、中高生からの質問や要望が紙面に載っているのも楽しいのかなと思います。

川本 市役所の窓口にも、目の不自由な方や家族が相談に来た時には広報や議会だよりなどを録音して配っているグループがいることを伝えて欲しいです。

Q 今後の目標は

福原 もっとこの活動を市民の皆さんに知ってもらい、男性や若い人にも会員になって欲しいです。それから、利用者さんも増やしていきたいですね。そして、録音する内容についても要望に応えられるような作品づくりをしていきたいなと思っています。



●取材後記

目の不自由な方へ広報の録音や朗読奉仕者として活躍されている7名にインタビューしました。

初めはこちらから準備していた内容に答えて下さっていましたが、気が付くと会長自らが自然に一人ひとりに特徴を持って聞き出してくれています。

まさに【聞く力】は、読む力・書く力・話す力の原点になることに気づかされました。言葉はつなげるだけではなく心の思いを響かせて、相手に伝えることの素晴らしさを感じた取材でした。

道法 知江



▲芸南学園さんから感謝状をいただきました

平成31年度
当初予算可決

らの早期復旧・復興に向けて～

平成30年7月豪雨災害からの早期復旧・復興

Q 一日でも早い工事着手と完了に向けての取組や、小規模の箇所についても他市町の先進事例を参考にすべきではないか、また何よりも住民に対して丁寧な説明を行う必要があると思うが市の対応は？

A 工事入札には関係機関と連携しスピード感を持って対応し、大規模事業以外においても被災箇所の早期復旧・復興のため積極的な情報収集を図っていきながら、住民の皆さんに「たけはら災害復旧かわら版」を適宜発行し回覧にて周知に努めていきたい。

●まちの復旧

公共土木施設災害復旧事業…1,512,500千円

《概要》被害を受けた公共土木施設（河川、道路及び橋梁）164件（平成31年1月時点）の復旧事業を実施する。

《事業期間》
平成30年度～
平成32年度（令和2年度）



●くらしの再建

地域支え合いセンター運営事業…17,060千円

《概要》被災者の早期の生活再建を図るため、竹原市社会福祉協議会に業務委託し、広島県や関係機関と連携し被災者を一体的に支援する。



農林水産施設災害復旧事業…271,300千円

《概要》被害を受けた農林水産施設（農地、農業用施設、林道）117件（平成31年1月時点）の復旧事業を実施する。

《事業期間》
平成30年度～
平成32年度（令和2年度）



●そなえの強化

消防団員装備品整備事業…515千円

《概要》消防団活動の充実・強化並びに消防団員の安全確保を図るため、消防団車両の装備品として「ヘッドライト」を78個、「救命胴衣」を52着配備する。



観光プロモーション事業

Q 大都市圏だけでなく近隣地域にしっかりと目を向けて取り組むべきでは？

A 平成30年度からの内容を見直し、関係者のモニターツアーや商品開発を行い観光消費額の拡大や滞在時間の延長に努めていきたい。

放課後児童クラブの運営

Q 現在直営方式と委託方式の両方があるが、すべて委託方式に移行すべきでは？

A 今後は委託の方向で検討していく。

介護福祉用具購入費の支払い方法

Q 現在の償還払いの方法では利用者にとって急な費用負担となることから、受領委任払いを検討する必要性は？

A 今後受領委任払いを検討していく。



財政健全化元年 ～豪雨災害か

●予算特別委員会

委員長 堀越賢二 副委員長 井上美津子

平成31年第1回定例会において、議長を除く13名で構成される予算特別委員会が設置されました。一般会計、特別会計、企業会計の当初予算案9会計が付託され、合計6日間の審査を経て、3月15日全ての予算案を可決しました。

委員長報告

昨年末に発表された「財政健全化計画」を受けての予算であり、限られた財源での予算編成であります。市民の皆さんが安心して日々生活する為には、一日も早い災害箇所の復旧と、元気な竹原市への復興は誰もが願うことです。

平成31年度は、この計画を受けての予算であることから、多くの委員から実効性などに対し厳しい質疑や指摘がありました。

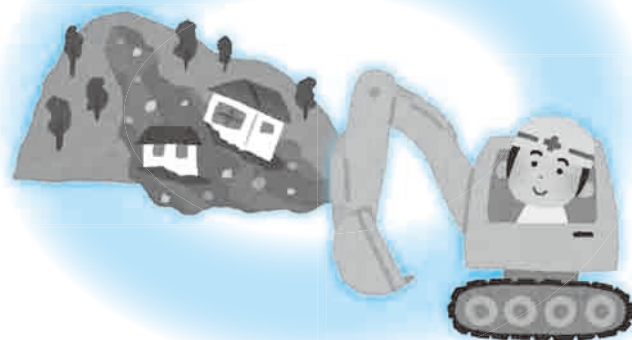
健全な財政運営に努め、真の市民福祉の向上に繋がるよう予算を執行することが重要であることから、次のことを強く要望し委員長報告とします。

財政運営についての要望4つの柱

本市の最上位計画である「第6次竹原市総合計画」を基軸とした将来都市像を目指すため、前期基本計画「たけはら元気プロジェクト」に体系づけた事業を**実効性のある事業の選択と集中**により必ず実行すること。



豪雨災害からの早期復旧・復興を推進するため、**確かな財源確保と執行体制を確立**すること。



持続可能な財政構造の確立に向けた「財政健全化計画」の確実な遂行のうえ、**その効果額を必ず予算に反映**させること。



将来への過度な負担を先送りすることは許されないことから、この難局を乗り越え、魅力あるたけはらの町づくりへの再構築に向け、職員一丸のもと**限られた財源において最大の効果**を求め続けること。



ことを審議しました！ 平成31年2月19日～3月15日

議案番号	議案名等	議案等の概要	付託委員会	委員会採決
議案第1～9号	平成31年度当初予算の概要は、4ページ・8ページに掲載しています。		予算	原案可決
議案第10号	竹原市コミュニティ集会所の指定管理者の指定制について	竹原市コミュニティ集会所の指定管理者を指定するもの(20施設)	民生	原案可決
議案第11号	大久野島毒ガス資料館の指定管理者の指定制について	大久野島毒ガス資料館の指定管理者を指定するもの	民生	原案可決
議案第12号	竹原市黒滝ホームの指定管理者の指定制について	竹原市黒滝ホームの指定管理者を指定するもの	民生	原案可決
議案第13号	老人集会所の指定管理者の指定制について	老人集会所の指定管理者を指定するもの(20施設)	民生	原案可決
議案第14号	竹原市在宅障害者デイ・サービスセンターの指定管理者の指定制について	竹原市在宅障害者デイ・サービスセンターの指定管理者を指定するもの	民生	原案可決
議案第15号	竹原市ふくしの駅の指定管理者の指定制について	竹原市ふくしの駅の指定管理者を指定するもの	民生	原案可決
議案第16号	竹原港北崎旅客ターミナルの指定管理者の指定制について	竹原港北崎旅客ターミナルの指定管理者を指定するもの	民生	原案可決
議案第17号	竹原市地域交流センター条例案	地域住民が主体的に取り組むまちづくり及び人づくりの推進並びに地域住民による個性豊かで活力あふれる地域社会を実現するため、地域交流センターを設置するもの	民生	原案可決
議案第18号	竹原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	国民健康保険制度の運営が県単位化されたことに伴い、各種税率及び税額を定めるもの	総務	原案可決
議案第19号	農業用施設整備事業等の分担金徴収条例の一部を改正する条例案	農業用施設整備事業等の分担金について、速やかに受益者の分担割合を減じ分担金を減額できるようにするもの	民生	原案可決
議案第20号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例案	災害弔慰金の支給等に関する法律等が改正され、災害援護資金の貸付利率について条例で定めることとされたこと等に伴い、必要な規定を整備するもの(第8次地方分権一括法関係)	民生	原案可決
議案第21号	竹原市事務分掌条例の一部を改正する条例案	多様化する市民ニーズや新たな行政需要・課題に着実に対応するとともに、より効率的で効果的な行政運営の推進に向けた組織体制とするため、必要な規定を整備するもの	総務	原案可決
議案第22号	竹原市水道事業の布設工事監督者等に関する条例の一部を改正する条例案	水道法施行規則等の改正に伴い、水道の布設工事及び監督業務を行う者の資格を改正するもの	総務	原案可決

※「総務」は総務文教委員会 「民生」は民生都市建設委員会

《民生都市建設委員会》

●2月22日 各施設の指定管理者を指定する議案、地域交流センター条例案など14議案を審査し可決

議案16号において、選定基準の評価点の算出根拠についての質疑に対し、項目の5段階評価の平均値が2であり、合計で50点という答弁でありました。また、管理運営についての質疑に対しては、定期的なモニタリングを行い指導・改善しますという答弁がありました。

議案17号につきましては、センター・コミセンの設置における地域格差があるのではという質疑に対しまして、今後は一定に整理し統一を図っていくという答弁がありました。

午前中1回目の個別質疑、午後2回目の一括質疑・討論・採決と諮った結果、全議案いずれも原案のとおり全会一致で可決されたものであります。

●2月25日 「本郷産業廃棄物最終処分場建設計画に伴う市民の不安の解消を求める請願」を採択するものと全会一致で決定
 ●3月12日 「本郷産業廃棄物最終処分場建設計画に係る意見書(案)」の提出について可決

委員長 竹橋 和彦

平成31年 第1回 定例会 こんな

議案番号	議案名等	議案等の概要	付託委員会	委員会採決
議案第23号	平成30年度竹原市一般会計補正予算(第6号)	歳入歳出それぞれ74,884千円を増額補正するもの	総務	原案可決
議案第24号	平成30年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ114,761千円を減額補正するもの	民生	原案可決
議案第25号	平成30年度竹原市貸付資金特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ2,110千円を増額補正するもの	総務	原案可決
議案第26号	平成30年度竹原市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ123,351千円を減額補正するもの	民生	原案可決
議案第27号	平成30年度竹原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ2,297千円を増額補正するもの	民生	原案可決
議案第28号	平成30年度竹原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ4,153千円を増額補正するもの	民生	原案可決
議案第29号	平成30年度竹原市水道事業会計補正予算(第3号)	資本金収入支出それぞれ1,420千円を増額補正するとともに債務負担行為の限度額133,900千円を増額補正するもの	総務	原案可決
議案第30号	工事請負契約の締結について	(仮称)竹原市立たけはら認定こども園建設工事の請負契約を締結するもの	総務	原案可決
請受第30-1号	本郷処分場(安定型産業廃棄物最終処分場)の危険性の排除を求める請願の取り下げ	請願者からの申出により取り下げするもの		
請受第31-1号	国に対し「消費税率引き上げの中止を求める意見書」の提出を求める請願	地方自治法第124条の規定により請願を提出するもの	総務	不採択
請受第31-2号	本郷産業廃棄物最終処分場建設計画に伴う市民の不安の解消を求める請願	地方自治法第124条の規定により請願を提出するもの	民生	採択
発議第31-1号	食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書(案)	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの(内容は10ページに記載しています。)	省略	
発議第31-2号	竹原市議会委員会条例の一部を改正する条例案	竹原市の行政組織が改正されることに伴い、常任委員会の所管について改正後の行政組織に応じた体制とするもの	省略	
発議第31-3号	本郷産業廃棄物最終処分場建設計画に係る意見書(案)	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの(内容は16ページに記載しています。)	省略	

《総務文教委員会》

●2月21日 事務分掌条例の改正案・一般会計補正予算など6議案を審査し可決

当委員会には当初6議案と「国に対し「消費税率引き上げの中止を求める意見書」の提出を求める請願」が付託されました。

議案第21号「竹原市事務分掌条例の一部を改正する条例案」については、市民ニーズへの対応について質疑があり、新設する「地域づくり課」を中心として地域との関わりをより進めていくとの答弁がありました。

議案第23号「平成30年度竹原市一般会計補正予算(第6号)」については、こども園整備事業の財源に関して質疑があり、今後の各事業においても交付金などを有効に活用するとの答弁がありました。

委員会において審査した結果、議案はすべて原案可決、請願は不採択となりました。

●3月25日(仮称)竹原市立たけはら認定こども園の建設工事請負契約の締結について、審査し可決

追加提出された議案第30号「工事請負契約の締結について」では、入札の審査過程について委員外議員の質疑がありました。

委員長 今田 佳男

平成31年 当初予算 本会議での採決の結果

議案名	予算額	下垣内和春	今田佳男	竹橋和彦	山元経穂	高重洋介	堀越賢二	川本 円	井上美津子	大川弘雄	道法知江	宮原忠行	吉田基	宇野武則	松本進	採決の結果
議案第1号 一般会計予算	134億5,806万2千円	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	×	×	原案可決
議案第2号 国民健康保険特別会計予算	33億1,040万5千円	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	×	原案可決
議案第3号 貸付資金特別会計予算	831万8千円	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第4号 港湾事業特別会計予算	5,172万5千円	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第5号 公共下水道事業特別会計予算	7億7,780万4千円	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第6号 公共用地先行取得事業特別会計予算	1千円	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第7号 介護保険特別会計予算	33億7,657万5千円	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	×	原案可決
議案第8号 後期高齢者医療特別会計予算	4億8,989万6千円	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	×	原案可決
議案第9号 水道事業会計予算	11億7,624万1千円	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	×	原案可決

※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席です。議案名の平成31年度・竹原市は省略して記載しています。

討論 議案第1号 《一般会計予算》

反対討論

賛成討論

①市長は、国政問題でも、消費税増税中止を国に意見表明すべきです。
 ②竹原市、人口減少の最大原因は20〜40才代女性の社会流出ですが、子育て支援策等が新年度予算案に拡充・強化されていません。
 ③新開土地区画整理事業は、凍結、見直しすべきです。
 ④7月豪雨災害のがけ崩れでは、人家2戸以上の未整備7カ所や人家1戸の39カ所が復旧工事の対象からはずれ、市民の安全・安心が脅かされています。特に本町2丁目5のがけ崩れは人家も多く、近くに子ども園施設があります。災害の復旧工事の早期実施を強く求めます。
 ⑤公民館事業を廃止して、「地域交流センター」の「まちづくり、人づくり」では、明確な公民館事業の継続の担保にはなりません。

松本進

平成31年度は「第6次竹原市総合計画」のスタートの年度であり、予算編成において「竹原市元氣プロジェクト」に体系づけられた事業及び災害からの着実な復旧・復興のための事業に重点的に予算配分したと説明がありました。
 この度の予算は、「元氣な竹原市」の実現に向けた事業が提案されており、事業展開により市が抱える課題に対し、確実に課題解決できる予算となっていると考えます。
 執行にあたっては、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興が最優先ではありませんが、財政健全化計画に基づき、スピード感を持ち、職員一丸となつて、着実に実行されることを信じて、議案第1号平成31年度竹原市一般会計予算案に賛成致します。

井上美津子



平成31年 第1回 定例会 本会議における採決の結果

議案番号	下垣内和春	今田佳男	竹橋和彦	山元経穂	高重洋介	堀越賢二	川本円	井上美津子	大川弘雄	道法知江	宮原忠行	吉田基	宇野武則	松本進	採決の結果
議案第 10 ~ 17 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	原案可決
議案第 18 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	欠	×	原案可決
議案第 19 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 20 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 21 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	欠	×	原案可決
議案第 22 ~ 29 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 30 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	退	原案可決
請受第 30-1 号 (取り下げ)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	承認
請受第 31-1 号	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	○	不採択
請受第 31-2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	欠	○	○	○	採択
発議第 31-1 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	原案可決
発議第 31-2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	退	原案可決
発議第 31-3 号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	原案可決

※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退席です。

討論

《議案第 16 号》

反対討論

この事業の H28 年度決算は 23,969,000 円の赤字、H29 年度決算も 27,719,005 円の赤字です。市は事業者からの事業報告を分析・検証して次期「公共施設の維持管理」の適切な対応をしなければなりません。候補者の選定の「審査講評」は、「収益施設の提案は、計画の詳細を早期に、より具体化することが必要である」との指摘があります。

松本 進

賛成討論

(柳) いね竹原は、農山漁村交付金事業で大崎上島の事業者とも連携し、町並み保存地区の古民家を利用した宿泊施設やレストランの開業に関わっています。

大崎上島の玄関口となる「海の駅」は利用客を呼び込む起点になるのではないかと考えます。

今回、指定されたのは市と商工会議所が共同出資して設立された地元業者であり、今後竹原が盛り上がり、たくさんの方に来ていただけると信じて、賛成します。

高重 洋介

《議案第 17 号》

反対討論

公民館の設置目的は、住民の健康、生活文化の振興、社会福祉の増進などに寄与することを目的（社会教育法第 20 条）と定めています。

公民館事業を廃止して「地域交流センター」の「まちづくり、人づくり」や指定管理者に施設の運営管理等を委託することでは、市が直接、公民館事業の運営・管理等に責任をもつことにはならないと考えます。

松本 進

賛成討論

地域における公民館を、これまでの生涯学習・文化活動の機能は継続しつつ、まちづくりの拠点としての機能を加え、地域住民が主体的に取り組むまちづくり及び人づくりの推進並びに個性豊かで活力あふれる地域社会を実現することを目的とすることから、竹原市地域交流センターを設置することに賛成します。

堀越 賢二



意見書

全会一致で賛成・可決し、国・政府へ提出しました

**食品ロス削減に向けてのさらなる
取り組みを進める意見書（概要）**

食品ロスを削減していくためには、国民一人一人が主体的にこの課題に取り組み、社会全体として対応していくよう、食べ物を無駄にしない意識の醸成とその定着を図っていくこと、また、まだ食べることが出来る食品は、必要な食べ物を十分に入手することができない人に提供するなど、できるだけ食品として活用していくことが重要である。よって国におかれては、国、地方公共団体、事業者、消費者等が一体となって食品ロス削減に向けての取り組みを進めるため、次の事項について真摯に取り組むことを強く求める。

- 1 国、地方公共団体、事業者、消費者等の多様な主体が連携し、食品ロスの削減を総合的に推進するため、法律の制定を含めたより一層の取り組みを実施すること。
- 2 商慣習の見直し等による食品事業者の廃棄抑制や消費者への普及・啓発、学校等における食育・環境教育の実施など、食品ロス削減に向けての国民運動をこれまで以上に強化すること。
- 3 賞味期限内の未利用食品や備蓄品等を必要とする人に届けるフードバンクなどの取り組みをさらに支援すること。

平成31年第1回臨時会 3月27日

●採決の結果

下垣内和春	今田佳男	竹橋和彦	山元経穂	高重洋介	堀越賢二	川本円	井上美津子	大川弘雄	道法知江	宮原忠行	吉田基	宇野武則	松本進	採決の結果
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	欠	○	○	×	原案可決

※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席です。

●議案
議案第31号 竹原市職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案

●概要
行政職給料表の級が3級から6級までである職員の給与について、給与月額を減額する特例措置を行うもの

●期間
平成31年4月1日～
平成32年（令和2年）3月31日

●職務の級と減額割合

職務の級	減額割合
3級・4級	1.5%
5級・6級	3%
7級（※H31年1月～）	8%

●審査のようす
厳しい財政状況のなか、歳出削減の取組として人件費の見直しが行われており、昨年12月定例会においては、特別職及び部長・課長級の職員の給料を減額する条例案が可決されています。

委員会の審査では、執行部より職員数、今回の減額での影響額の資料の提供を受けて、財政健全化計画との関連について質疑があり、今後継続して全体的な人件費の見直しを進めていくとの答弁がありました。

議案は付託された総務文教委員会での審査ののち、本会議での討論、採決の結果、原案可決となりました。



いまだ よしお
今田 佳男

●介護人材の確保と育成について
●春の大型連休への対応について



質問 「福祉・介護・保育分野における人材育成事業に関する包括連携協定」が締結されました。今後の取組をお聞かせください。

答弁 市長 必要な介護サービスを提供していくためには、安定的かつ継続的な介護人材の確保・育成・定着に向けた取組が重要であると認識しております。

地域の福祉・介護・保育分野の魅力の向上、人材の確保・育成等を目的として、竹原地域社会福祉法人協議会と、大学・専門学校との協力教育機関、市内の県立高等学校、竹原商工会議所、本市の7者により包括連携協定を締結いたしました。

今後は、この協定に基づき、これらの機関等と連携しながら、小・中・高校生の段階から福祉分野の職場の存在を身近に感じてもらうための活動、福祉分野の職場で働く社会的意義や魅力を伝える活動、生徒の進学を後押しする「進学支援事業」、市内の福祉事業所への就職を後押しする「就職支援事業」に取り組みすることとしております。

質問 春の大型連休の久野島のフェリーの乗船待ちの問題にどのように対応されますか。

答弁 市長 観光客が増加してきた大久野島への玄関口となる忠海港については、春の大型連休などには、長時間の乗船待ちが発生するなど課題があると認識しております。

竹原市、竹原警察署、航路事業者、警備会社などによる対策会議を定期的に開催し、駐車場の確保や警備員の配置など安全対策に取り組んでまいりました。引き続き、航路事業者や企業などの協力を得ながら、必要な対策を講じてまいります。



●市環境基本条例と本郷産廃場の対応について
●がけ崩れの復旧対策の現状と対策は
●高すぎる国保税の引き下げで市民の命と健康を守れ



まつもと すすむ
松本 進



質問 ①日弁連は、廃棄物処理法を厳格に守っても、水源汚染の恐れは解消できないと指摘(廃棄物5品目から有害物質が溶出やそれ以外の分別が困難なこと)しているが、市長は住民の安全や産廃反対の民意をどのように考えるのか。

答弁 市長 ①日弁連の指摘を踏まえ、国はその都度必要な見直しを行うなど適切に対応しています。

②この条例は市の環境行政の基本理念・方針を定めたものであり、個別的な規制を行う条例ではありません。

質問 7月豪雨災害で人家2戸以上の7カ所は復旧工事が未着手。本町2丁目5は、近隣に子ども園があり、復旧工事はいつ完成ですか。人家1戸の39カ所も天災であり、個人負担40%は不条理です。農地の激甚災害指定に近づける市の対応が必要ではないですか。

答弁 市長 人家2戸以上で採択基準に満たない7ヶ所、本町2丁目5の防災対策を県に要望しています。

人家1戸の災害関連の事業は困難です。ハード・ソフトの総合的な土砂災害対策を進めます。

質問 ①全国知事会等が求める1兆円公費投入で均等割・平等割の廃止による竹原市国保税の試算と現行の市国保税は。

答弁 市長 ①年収400万円、30才代夫婦・子ども2人の4人世帯で本市国保税は年額38万6,600円。仮に1兆円の公費投入があった場合、均等割と平等割を除いた年額は16万7,813円です。

②対象世帯は240世帯、市の負担額は456万9千円です。軽減措置の導入については国に要望します。





たけのり
の
宇野 武則

- 市長の政治姿勢について
- 財政改革について
- NPO法人ふれあい館について



質問 市長は就任一年の今日に至るも職員が延長線にある。私は市長の政治姿勢に対し頭の切り替えを二度進言いたしました。市長は今後行財政改革に対しどのような決意で取り組まれるのか。

答弁 市長 急速な少子化と人口減少の進展を踏まえ、「第6次竹原市総合計画」策定と安定的な財政運営のため、行財政経営強化方針を策定。前例踏襲によらず職員の意識改革を進めてまいります。

質問 近年県内外で人口減少による公共施設の統廃合、合理化が進んでいる。本市の場合、市営住宅の中途半端な管理や教育施設は休園休校のまま長年放置状態。この際不要不急等となった公共施設は一般財産とし、財政課で一括管理し、企業・市民・移住対策等要望に即対応できるように条例を整備すべきと思うが。

答弁 市長 公共施設などの適正化、有効活用について公共施設等適正化推進プロジェクトチームを設置。財政健全化に向けた財源確保に取り組んでまいります。



質問 同施設は平成19年教師退職者2名によって設立。運営費は使用料、寄付金であったが、平成21年当時の市長によって福祉部4事業教育委員会1事業が委託決定。本市では平成32年4月竹原西保育所、中通保育所、西幼稚園を統合してこども園整備予定。建設費は土地を含め約6億円。平成31年度は大井保育所も少子化のため休止予定。少子化が進むなか、多くの施設の再利用の予定もないなか、ふれあい館は委託費2千万円。企業との賃貸借180万円が支出。施設の継続性があるのか伺います。

答弁 市長 就労の多様化、核家族化、地域の希薄化など子育てを取り巻く厳しい環境の中で子育てに関するニーズも多様化しており、安心して子育て出来る環境作りを進めるため、ふれあい館等の事業を実施してまいります。

●財政健全化計画について



かわもと
川本 円



質問 事務事業の見直しで当初予算の何%ぐらいの削減を予定していますか。

答弁 市長 新年度当初予算において、経常経費を対前年度比で5%の削減で予算編成を行いました。

質問 投資的経費の見直しで、緊急性・必要性のある事業は実施を検討していますが、その事業とは。

答弁 市長 平成30年7月豪雨災害の復旧事業を優先とし、新たな施設整備を行わないこととしておりますが、子どもの安全・安心の確保や集約化による財政効果も見込めることから「こども園整備事業」を実施し、また、生徒に危険が及ぶ恐れがあるため「竹原中学校の外壁」に改修経費を予算計上しております。

質問 公有財産の有効活用で、未利用財産の売却等とありますが、今現在、未利用財産はどれくらいあり、今後の取組を伺います。

答弁 市長 現時点で、賀茂川小学校給食調理場跡地、宮原県営住宅跡地など8件あり、来年度から公共施設等適正化推進プロジェクトチームを設置し、取組を進め



▲令和2年開園の市立認定こども園 (イメージ図)

てまいります。
質問 この財政健全化計画の実施にあたり、市民の皆さんにどのように伝え、どのように理解・協力を得ますか。
答弁 市長 計画の取組内容については、様々な場面を通じて、市民に対し説明責任を果たすと共に、財政状況が厳しい中であっても、職員一丸となって、必要な施策を積極的に推進し、着実にまちづくりを進めることで、市民の理解と協力を得られるように努めてまいります。



高重 洋介

●コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について
●斎場～県道75号線取付間の長期未整備とバイパス化計画の具現化



質問 ①平成32年度に導入予定の学校とその理由は。②この事業を進めるためには保護者や地域の理解や協力が必要であるが、地域の協力を求めるだけではなく、教職員が地域に出向き地域行事に参加し、たがいに貢献できる関係が必要と考えるがどうか。

答弁 教育長 ①施設一体型で小中一貫教育を行う忠海小学校・中学校(忠海学園)、義務教育学校である吉名学園、単独の小学校である竹原小学校の、多様な種類の4校を研究校として指定し、平成32年度の導入に向けて準備を進めることとしております。

②地域と学校が将来を担う子どもたちを育成するための目標を共有し役割分担をしながら、それぞれ主体的に課題解決に取り組むため、双方が達成感を味わうことができるかと考えております。

質問 この区間は、斎場建設時に、行政関係者との協議で2車線化が条件採択の経緯があり斎場建設から30年が過ぎた現在も未改良である。①長期間にわたって当該放置区間の要因は何か。



②過去数年にわたって、災害や改良工事等による通行止めの現状と現道の用地対策に見通しが立たないのであれば、バイパス計画の具現化に向け国や県に対し施策要望に転じる必要があると考えるがどうか。

答弁 市長 ①この区間は、法務局の公図と現況不整合であり、事業実施のための用地の整理に時間を要していると同っておりませんが、今後もし引き続き既設道路の拡幅を進めるよう県に要請してまいります。

②バイパス整備の着手については、この度の豪雨災害を踏まえ、県の次期道路整備計画を見据えながら県と必要な協議や調整を図ってまいります。

議会のうごき

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 2月 6日 総務文教委員会 | 3月14日 議会運営委員会 (会期中) |
| 2月12日 広島県後期高齢者医療広域連合議会定例会 | 3月15日 総務文教委員会
代表者会議 |
| 2月13日 議会運営委員会 (会期前) | 3月18日 国土交通大臣へ要望書提出 |
| 2月15日 全国市議会議長会産業経済委員会 | 3月22日 広島中央環境衛生組合議会
定例会 |
| 2月18日 広島県市町総合事務組合議会定例会 | 3月26日 議会運営委員会 |
| 2月19日 第1回定例議会 (~3月15日)
予算特別委員会 | 3月27日 第1回臨時議会 |
| 2月21日 総務文教委員会 | 4月 9日 広島県知事へ意見書提出 |
| 2月22日 民生都市建設委員会 | 4月10日 代表者会議 |
| 2月25日 議会運営委員会 (会期中)
民生都市建設委員会 | 4月18日 民生産業委員会 |
| 2月26日 本会議 一般質問 (~27日) | 4月23日 代表者会議 |
| 3月 4日 予算特別委員会 (~7日) | 4月26日 総務文教委員会 |
| 3月10日 広島中央環境衛生組合議会全員協議会 | |
| 3月12日 予算特別委員会 (~13日) | |
| 3月12日 民生都市建設委員会 | |



※この間、議会だより編集委員会は7回開催しました。

… 議会運営委員会からのお知らせ …

議案第21号「竹原市事務分掌条例の一部を改正する条例案」の可決に伴い、4月から各常任委員会が所管する事務を下表のとおり変更することとなりました。これに合わせて「民生都市建設委員会」の名称を「民生産業委員会」に改めました。

総務文教委員会

●総務企画部

- ・総務課……………条例、情報公開、職員の配置・給与、公有財産の管理
- ・企画政策課……………広報、広聴、総合計画、行政改革の推進、広域行政、情報政策
- ・財政課……………予算の編成・執行、市債、財政計画、入札及び契約
- ・危機管理課……………災害防止対策、常備消防、消防団、交通安全、防犯・暴力追放

●教育委員会

- ・教育振興課……………学校・幼稚園施設、文化財保護、生涯学習
- ・学校教育課……………学校教育全般

●公営企業部

- ・水道課……………水道全般

●その他行政委員会

- ・会計課・選挙管理委員会・監査委員・公平委員会

民生産業委員会

●地域振興部

- ・産業振興課……………商工・観光、企業誘致、定住推進、農林水産
- ・地域づくり課……………協働のまちづくり・自治会、地域交流センター、人権推進

●市民生活部

- ・市民課……………戸籍、住民票、国保、後期高齢、一般廃棄物、公衆衛生
- ・税務課……………市税

●福祉部

- ・健康福祉課……………介護保険、高齢者福祉、障害者福祉、母子保健、予防接種
- ・社会福祉課……………民生委員、生活保護、子ども福祉、保育所、こども園

●建設部

- ・建設課……………公共土木施設、農地・農業用施設、森林保護、漁業施設
- ・都市整備課……………市営住宅、都市計画、公共交通
- ・下水道課……………下水道全般

●その他行政委員会

- ・農業委員会

※主な業務内容を記載しています。

常任委員会所管事務調査

《総務文教委員会》 2月6日

●農泊推進事業について

実施主体	竹原・大崎上島農泊推進協議会		
構成	竹原市・大崎上島町・(株)いいね竹原 N P O 法人ネットワークたけはら等		
事業の内容	古民家を改修し、ホテルやレストランとして運営することで空き家問題の解決とまちなみ保全に取り組む		
事業費	平成 30・31 年度総事業費 (単位千円)		
	農泊推進事業		12,064
	人材活用事業		5,048
	施設整備事業		117,131
	計		134,243

●コミュニティスクールについて

コミュニティスクールは平成31年度に4校を指定して研修を行いながら準備をし、平成32年度のコミュニティスクールの指定を目指し、平成34年度に市内の全ての学校をコミュニティスクールとして指定することを目指しているとのことでした。

どちらも重要な事業であり、今後も進捗状況を随時説明を受けることとしました。

委員長 今田 佳男

《民生産業委員会》 4月18日

●(仮称)竹原市立たけはら認定こども園整備事業について

廃園する3園の跡地利用についての質疑があり、建物は解体し、跡地利用については、今後地元の方と検討していくとの答弁がありました。

●竹原港北崎地区駐車場用地について

駐車場の適正な活用についてや長期間占拠している車の対応についての質疑があり、対象車両の撤去など対応を検討し、駐車場の在り方については、北崎市営住宅の仮駐車場と併せて検討していくとの答弁がありました。

●北崎(北)市営住宅の処分検討について

残っている住宅地の処分についての質疑に対し、現入居者に対し粘り強く移転交渉を進めていくとの答弁がありました。

今後も、委員会として公有財産の有効活用について調査研究して参りたいと考えております。

委員長 竹橋 和彦

研修実績報告書

《東部ブロック議員研修》 1月31日

ないものはない～離島からの挑戦～

前海士町長 山内 道雄氏

海士町(あまちょう)は、日本海の島根半島沖合約60kmに浮かぶ隠岐諸島の4つの有人島の一つです。平成20年には確実に「財政再建団体」へ転落の危機が予測される中、住民代表と町議会と行政が一体となって、島の生き残りを懸けた「海士町自立促進プラン」を平成16年3月に策定されたとのことでした。その行財政改革についての実践事例を聞き、「守り」を固める一方で、「攻め」の方策として新たな産業を創出する戦略について学ぶことができました。

地域活性化の要因として、自分たちの地域は自ら守り、地域の未来は自ら築くことが自治の原点であると言われたことが深く印象に残りました。

竹原市も少子高齢化が進み、災害復旧に向けて財政の危機など抱えている課題が多くありますが、まちづくりの原点である「モノづくり」「人づくり」の両輪によって切り開いていく取り組みに挑戦していきたいと思えます。

下垣内 和春



県知事へ意見書を提出しました

三原市本郷町に安定型最終処分場を設置する許可について事業者から広島県に対して申請がされているところです。

この計画に対して、2月22日、荘野自治会連合会会長他7名より「本郷産業廃棄物最終処分場建設計画に伴う市民の不安の解消を求める請願」が提出され、同27日に全会一致で採択されました。

あわせて3月15日「本郷産業廃棄物最終処分場建設計画に係る意見書」を議決し、4月9日広島県知事に提出しました。

本郷産業廃棄物最終処分場建設計画に係る意見書(要旨)

処分場の建設に当たっては、生活環境に関する周辺地域との合意形成が図られ、周辺地域住民に対する計画の十分な情報開示と説明が求められます。

竹原市民は、安定型最終処分場の安全性、この計画に伴う汚染水の流出などに対して大きな不安を持っており、十分な対策が講じられていることを確認できるよう望んでいます。

事業者は市民の不安を解消し、周辺地域との合意形成に努める必要があると考えます。

広島県におかれては、こうした考えを事業者に伝えるとともに、適切な指導に努めていただくよう、強く要望します。

お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube^{JP}

竹原市議会

検索



次回定例会市議会は、6月中旬からの予定です。みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

地域の「ストーリー」を世界へ

江戸時代、良質な塩を作り続け、竹原は次第に塩の産地として全国に知られるようになり、瀬戸内海の製塩業を先駆するようになりました。

竹原で作られた塩は大阪・新潟・青森などへ廻船で売られ、塩が運ばれると「竹原が来た」と呼ばれるほど広く、多くの人から愛されていたそうです。無名の庶民先人たちは私たちに何を残そうとしたのか。

新しい時代になり日本遺産の認定を目指し「北前船の寄港地」として、地域活性化や自治体交流などの取り組みで、素晴らしい伝統や文化を世界に発信し、地方創生として胸を張って盛り上げて行きたいです。

道法 知江

【編集委員】◎委員長◎事務局長

◎井上美津子

◎今田 佳男

下垣内和春

堀越 賢二

道法 知江

松本 進